

伊予市

じんけん教育

2008 No. 6

一人一人の人権が尊重される、明るい伊予市をめざして

編集・発行／愛媛県人権教育協議会伊予市支部・伊予市教育委員会（〒799-3113 伊予市米湊768番地2 ☎089-982-5155）



いっしょにおどろう

中山町は品質の良い栗の生産で有名です。子どもたちは、その多くが三世代同居の家庭で、大事に育てられています。保育所にくる子どもたちも、少子高齢化の影響で、人数が減少し、広域からの登園児が目立ちます。また、人口の減少で、地域の人々との交流の機会が減ってきているのも現状です。中山保育所では、豊かな人間関係を育む目的で、異年齢児保育に取り組み、自分らしさを発揮しながら、地域に密着した生活を体験させ、心豊かな人間性の基礎を培っていきたくと考えています。

心豊かな子どもたち

地域の様々な人たちに支えられて

中山保育所



お水だいすき!!いっしょにポーズ

今年度も、近くの高齢者福祉施設「なかやま幸梅園」の運動会や文化祭に参加し、お年寄りと遊んだり、地域の良さを教えてもらったりして、人の優しさや地域のすばらしさを知ることができました。また、ザリガニやクワガタなどお年寄りが卵から育てた生き物をいただき、子どもたちは優しい気持ちで世話をし、命の大切さに気づくようになりました。



こうやってするんよみよってね

思い出に残る楽しい時間を過ごしました。また、地域の保健師と連携を密に取りながら、未就園児（ゆうゆうクラブ）との交流もすすめています。この交流を行うことで、小さい子に優しく、いたわりの気持ちで接していくことの大切さを、体験から学ばせる努力をしています。

このような様々な遊びや生活体験を通して、身近な人、地域の人々に見守られ、支えられていることを知ってもらいたいと考えています。合わせて、人権尊重の視点に立って、自分や友達を大切にしていける子どもに、さらに、「中山が大好き」になる子どもへの育成に努めています。心豊かな子どもたちの元気な声がかたまる中山保育所を目標にして、今後も努力を重ねていきたいと思えます。

第30回 伊予市人権・同和教育研究会 研究主題「心のつながりを深め、共に伸びる仲間づくり」

伊予市立南山崎小学校



〈授業の様子〉

二〇〇七(平成十九)年十月二十四日(水)に伊予市人権・同和教育研究会を開催しました。南山崎小学校の研究主題は、「心のつながりを深め、共に伸びる仲間づくり」です。「つながり」をキーワードとして、人権・同和教育の解決に向けて、日々地道な取組を進めています。今回の研究会は、本校の実践を見つめ直すよい機会になりました。

各学年では、道徳や学級活動を中心として授業を公開しました。「思いを出し合い、相手のことをよく知る」と「弱い立場の人を思いやり、温かい心で接すること」「過ちを素直に認め、偏見や差別をもたず公平に接すること」「相手の気持ちを考慮して、差別をなくしていくこととする意欲や態度を養うこと」など、ねらいを明確にし、それにせまる授業展



〈全体会の様子〉

開を学年の発達段階に応じて工夫しました。また、教師が自身の弱さや差別心をさらけ出し、自らを語ることで、子どもたちに本気の思いを伝えました。授業後のアフタラクションでは、全校児童で南山崎小学校の命のテーマソング「いのちのこゝろ、南山に輝いて」を合唱しました。この歌は、南山崎校区の自然に、人々に、そして何より南山崎に住む子どもたちに思いをはせて、教職員と子どもたちとで作り上げた曲です。参加してくださった保護者の方にも、今回が初めてのお披露目の場となりましたが、手話を交えて心をつなぐ歌う子どもたちの姿は、心のつながりを深めている確かな姿として、聴く人の心に響いたのではないかと思います。

その後の全体会では、愛媛大学非常勤講師の秋本良次さんの講演がありました。「差別の現実に学ぶ」ということは、人権・同和教育を進めていく上での基本姿勢ですが、差別の現実に向き合っていない現状への警鐘を鳴らされたようにも思います。きれいなことをいくら並べても差別はなくなりません。差別を見抜く目を養う努力をしていくことの大切さを改めて感じました。

「差別をなくすために、今自分に何ができるか」参加者一同、そんな思いを新たにしたい一日になりました。

すべての差別をなくする 人権・同和教育の推進

大平地区公民館「地区別懇談会」



〈ワークショップに熱心に取り組む参加者〉

大平地区では、本年度の地区別人権・同和教育懇談会を七月から、広報区長さん、広報委員さんのご協力のもと、各地域の集会所十七会場において開催しました。

どこの会場も多くの方のご参加をいただき、ビデオ「私の好きなまち」を鑑賞し、小・中学校及び社会教育指導員の先生方のそれぞれの体験に基づいての講話などにより、人権について学習しました。懇談会はお互いの違いを認め合い、生活(心)の中に潜む偏見・差別をなくしようといった考え方について勉強し、短時間ではありましたが充実した学習会となりました。

四～五人のグループに分かれ「わたしたちのまま

第59回

全国人権・同和教育研究大会開催
二〇〇七(平成十九)年十一月二十三日(金)・二十四日(土) 金沢市



〈開会式風景〉

第五十九回全国人権・同和教育研究大会が石川県金沢市を中心に開催されました。今回の研究テーマは、「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」「一部落問題を解決し、人権文化の創造をはかるため」に、同和教育の充実と発展を通して人権教育・人権啓発を構築していくこと」でした。



伊予市からも四十六名が参加して研さんを積みました。また、下灘中学校の谷岡淳教諭が「全校みんなで取り組む人権啓発劇」と題して素晴らしい実践報告を行い、実り多い研修ができました。



〈分科会報告 下灘中学校 谷岡 淳 教諭〉

三重県の解放子ども会に参加する二名の女子高生の報告には、会場にいた全ての者が、心揺さぶられ

参加者の感想の一部を紹介します。

ました。会場から、「報告を聞いて胸が熱くなりました。若い人がこんなにがんばってくれてるのだと思うとうれしくなってきました。」という発言がありました。会場内は二人に感動して泣いていました。次に、「今まででつらかったことは何ですか」という質問に、「私は、今までに差別を実感したことはありません。学習をしても、自分のことには思えません。でも、親友が差別に出会って悩み、相談された時、何もできないという自分の力のなさを感じた時が一番つらい思いをしました。それからは、差別を自分に置き換えて考えることができるようになりました。」と、答えました。その素直な考え方や、美しい心の表れた言葉が、再度会場に涙を誘いました。次の人が「前の二人にしんどい思いをさせるような社会が私は悔しい。」と言った後、「私の息子たちは結婚を申し込むとき、私に、人間みんな同じだから、自分が部落出身であることを話す必要もないよねと、たずねたので、私は、言う必要はないけど隠す必要もない」と答えました。後ろから押して勇気づけてほしかったんだと思います。

息子は立場を話し、結婚して今は孫もいます。この話をされた意図は、若い二人に向けて、結婚差別にありながらもしれないが、しっかりした心と行動ができるように励ましのメッセージを送ったのだと思います。会場の参加者もそのことを感じ取り、明るい展望のある結婚差別についての体験談が話されました。会場の人の心が一つになった瞬間を感じました。参加者全員



〈お熊甲祭り 猿田彦の舞〉
1000年の歴史のある(国指定重要無形民俗文化財)地元神社の祭りの様子が披露された。

ち「再発見」というワークショップを行う学習もありました。

これは、ごく普通のまちのイラストを用いて、そこに描かれた男性・女性・お年寄りなどいろいろな人の中に、車いすの人や目の不自由な人、また、手話をしている人などがいることを認識した後に、「だれもが暮らしやすいまち」にするための意見を出し合いました。お互いを思いやる気持ちの大切さと、人権の問題が身近にあることを学び、あわせて社会的に弱い人の立場に立ち、物事の判断をすることが必要であることを学習しました。

また、「身元調査おこわり運動」のステッカーを各家庭に貼り、お互いに差別や偏見のない社会づくりを実現するため、身元調査の依頼はもちろんのこと、協力することもしないという信念をもって取り組むことの大事さを再認識していました。

永年続いているこの懇談会は、毎年の積み重ねによって、少しずつ一人一人の意識を変えていき、人権・同和教育解決への役割を果たしていくものです。今後とも皆様のご協力をお願いします。

ワークショップ 「ペットとがんちがいませんか」



「身体障害者補助犬啓発マーク」です。身体障害者補助犬法による「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」を受け入れる店の入り口に表示するマークです。ペット犬とは違います。不特定多数の人々が利用する施設(アパート、飲食店等)では、受け入れが義務づけられています。

第22回 人権啓発標語入選作品

一人一人の人権が尊重される 明るい伊予市をめざして

応募数	小学校	259点
	中学校	103点
	高校	65点
	一般	323点

多数の応募ありがとうございました。入選作品を紹介します。(敬称略)

応募総数 750点

小学生の部

- なかよしの あくしゅをすれば ゆうきが わくわく
下灘小1年 西下 剛生
- ぼくはすき えがおがいっぱい げんきなきょうしつ
佐礼谷小1年 北岡 蒼真
- ありがとう ごめんなさい すなおに言えたらいいね
佐礼谷小2年 出本 愛実
- 友だちに やさしさいっぱい つたえよう
中山小2年 升田 瑠華
- 考えて 相手の気持ちと その言葉
下灘小3年 峯 菜月
- 教室は えがおのつまった たからばこ
南山崎小3年 宮尾 花奈音
- おもいやる 心は ぼくの宝もの
伊予小4年 西山 竜一朗
- 友達が 笑顔くれた うれしいな
南山崎小4年 清水 健登
- 「やめようよ。」 その一言が 言える子に
中山小4年 平野 春菜
- 見つけたよ あなたのよいところ やさしいところ
由並小5年 長尾 美波
- だれにでも 笑顔を与える 人になる
郡中小5年 川田 修平
- 声かけて 心の花が さいていく
郡中小5年 出来 匠
- 差別のない未来へ 今ふみだそう
翠小6年 小畑 麻愛
- 差別に負けない 一つの勇気が みんなをかえる
北山崎小6年 阿部 二矢
- 一人じゃない いつも仲間が そばにいる
郡中小6年 塩田 恭久
- ちょっとだけ 勇気を出して “だいじょうぶ”
郡中小6年 草本 康裕
- 強いのは いじめる君より 止める君
北山崎小6年 松下 優香

中学生の部

- その気づかい みんなの顔に 笑顔を灯す
港南中1年 山田 まゆら
- 私の手 あなたの手 あわせて感じる 温かさ
下灘中1年 福本 愛子
- その笑顔 心と心を つなぐカギ
下灘中1年 魚見 瑠奈
- のびした手 うけとり私は 明日を見る
港南中2年 藤岡 亜弥
- 幼いね いじめようとする その心
上灘中2年 高村 麻希子
- 大切に あなたの心と相手の心
伊予中2年 山本 泰宏
- 見つけあおう 僕とあなたの いいところ
港南中3年 森 卓也
- からまった 糸がほどける 思いやり
港南中3年 玉岡 幸恵
- ぼかぼか笑顔 みんなの心を つなぐ鍵
港南中3年 宮内 啓

高校生の部

- あたたかい あなたの言葉で 救われる
伊予農業高校1年 上野 瑠菜
- あなたにも 笑ってほしい 心から
伊予農業高校2年 兵藤 璃沙
- 見落とすな 周囲の人の SOS
伊予農業高校2年 嶋矢 汐莉

成人の部

- 「どしたん？」と 声をかける 思いやり
伊予市大平 福田 八重
- 育てよう！ 差別の花を 摘む勇氣
伊予市尾崎 松下 美香
- 優しさで 心の扉 ノックする
伊予市米湊 武智 冷子
- みんなが笑顔になるための心のゆとりと思いやり
伊予市大平 山本 麗子
- みんな 誰かの 大事な宝物
伊予市宮下 小笠原 ゆかり
- つらいとき 一人じゃないよ だいじょうぶ
伊予市上野 坪内 多恵美
- 手をつなぎ 感じる温もり 思いやり
伊予市上野 北條 健一
- 差別の芽 生むのも 摘むのも 家庭から
伊予市上三谷 山崎 由香理
- 相手のいたみ 自分のいたみ 心できこう心の声を
伊予市宮下 池内 恵美
- なかよしは いつでも どこでも だれとでも
伊予市上三谷 西山 清生
- 気づこうよ さびしい目をした 心のサイン
伊予市上三谷 葛川 明美
- ありがとう 何度聞いても いい言葉
伊予市上三谷 水口 壽夫
- ほらそこに あなたは気付かぬ 差別の芽
伊予市市場 池内 成記
- だいじょうぶ？ その一言が うれしいね
伊予市双海町上灘 田口 美智子
- 君と僕 違っているから 素敵だね
伊予市米湊 大塚 夏子
- その笑顔 たくさん夢が つまってる
伊予市中村 山本 多香子